

登録コード	HM119300	開講年度	2026					
授業題目	泌尿器科手術学特論					担当教員	秋山 佳之 他	
英文授業名	Urologic Surgery					副担当	皆川 倫範・齊藤 徹一	
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	大学院 1年次
講義室				授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					(授業の達成目標)		
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加							
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能					ロボット手術手技ならびにレーザー利用の内視鏡手術について学ぶことで泌尿器内視鏡手術の臨床的技能を獲得、実践できるようになる		
(2)詳細 /Detailed information	腎・泌尿器・男性生殖器の解剖、および疾患と治療法、その中でも手術療法、特に最新のロボット支援腹腔鏡下手術やレーザー利用手術など最新の手術についての理解を深める。							
(3)授業の概要 /Overview of course	腎・泌尿器・男性生殖器の解剖、および疾患を概説し、それらの疾患に対する治療法、その中でも最新の手術療法についての授業を、実際の症例を参考として行う。							
(4)授業計画 /Course plan	1 回：腎・泌尿器・男性生殖器の解剖生理について概説する。2 回：腎・泌尿器・男性生殖器の先天性疾患について概説する。3 回：腎・泌尿器・男性生殖器の腫瘍性疾患について概説する。4 - 1 5 回：腎・泌尿器・男性生殖器疾患に対する手術療法（開放手術、尿路結石破碎手術、経尿道的内視鏡手術、腹腔鏡下内視鏡手術、特にロボット支援腹腔鏡下手術やレーザー利用手術など）について、実際の症例を基にして概説する。 具体的には、4－6 回：開放手術、7－8 回：尿路結石破碎手術、9－1 0 回：腹腔鏡下内視鏡手術、1 1－1 3 回：ロボット支援腹腔鏡下手術、1 4－1 5 回：レーザー利用手術他、を行う。							
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	成績評価は、中間試験，期末試験，いずれの試験においても総得点の6 0 パーセント以上を合格とする。 成績評価の基準は、授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある(可)」，応用問題が解ければ「やや上にある（良）」，やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある（優）」，例題よりもかなり難しい応用問題が解ければ「卓越している（秀）」とする。							
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	毎回の授業内容の欄に，教科書や副読本で予習しておくべき内容を指定する。							
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	適宜、質問、相談へは対応する。							
(8)授業の形式 /Course format	スライドも用いた講義の他に、具体的な症例をもとに授業を行う。							